

和歌山県
国土交通省 和歌山河川国道事務所
国土交通省 紀南河川国道事務所
資料配布

配布日時	平成17年5月20日
	14時00分

件名	<p><b>シーニック・バイウェイに関するシンポジウム</b>  <b>～世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」に</b>  <b>ふさわしいみちのありかた～</b>          を6月18日(土)に開催します</p>
----	--

概要	<p>シーニック・バイウェイとは景観・歴史・文化・自然・建築など、地域の魅力を「道」でつなぎながら、地域と行政が連携して、美しい景観づくり、魅力ある地域づくりを目指すものです。</p> <p>シーニック・バイウェイ制度の実現に向け、紀伊半島への導入の可能性をともに考えるきっかけとしてシンポジウムを開催します。</p> <p><b>一般参加入場無料、事前の申し込み不要のため、直接会場にお越し願います。</b></p> <p>日時：6月18日(土) 13:30 ~ 16:00          会場：田辺市山村開発センター(旧本宮町) [大ホール]</p>
----	---

取扱い	<p>テレビ・ラジオ : _____</p> <p>新聞 : _____</p>
-----	--

配布場所	<p>近畿建設記者クラブ          大手前記者クラブ          和歌山県政記者クラブ          和歌山県地方新聞記者クラブ          和歌山県政放送記者クラブ</p>
------	---

同時配布	_____
------	-------

問合せ先	<p>和歌山県 県土整備部 道路局 道路政策課          (シーニックバイウェイに関するシンポジウム実行委員会 事務局)          計画班長 榎山(かしま) TEL 073-441-3096 (直通)          小島(こじま) TEL "</p> <p>国土交通省 近畿地方整備局 和歌山河川国道事務所          副所長 浜野(はまの) TEL 073-424-2471 (内205)          調査第二課長 松田(まつだ) TEL " (内451)</p> <p>国土交通省 近畿地方整備局 紀南河川国道事務所          副所長 市川(いちかわ) TEL 0739-22-4564 (内205)          建設専門官 河合(かわい) TEL " (内544)</p>
------	--

## 概 要

「紀伊山地の霊場と参詣道」の世界遺産登録を機に関心が高まっている紀伊半島を舞台に、初めて訪れる人々にも安心・安全・快適なドライブを楽しんでもらうために、道路を単なる通過地点ではなく、沿道周辺地域と連携することにより、個性的で魅力的な空間に創造する「シーニック・バイウェイ」を計画中である。この計画を実効あるものとするためには、行政と住民、NPO等が一体となって取り組みを図ることが必要であり、コンセプトの浸透と住民の意識高揚を目的としてシンポジウムを開催する。

## 日 時

平成17年6月18日(土) 13:30～16:00

## 場 所

田辺市山村開発センター(田辺市本宮町本宮100)

## 主 催

「シーニック・バイウェイに関するシンポジウム」実行委員会

(国土交通省近畿地方整備局紀南河川国道事務所、和歌山河川国道事務所、和歌山県)

## 後 援

奈良県、三重県

## 協 賛

(社)近畿建設協会、和歌山県道路協会

## 基調講演

みんなでつくる美しいみちとまち～シーニック・バイウェイ制度の導入～

(筑波大学 社会工学系教授 石田東生 氏)

## パネルディスカッション

紀伊半島におけるシーニック・バイウェイの可能性

パネリスト

(1)筑波大学 社会工学系教授 石田東生 氏

(2)国土交通省北海道開発局 道路調査官 和泉晶裕 氏

(3)熊野古道を世界遺産に登録するプロジェクト準備会 運営委員代表 小野田真弓氏

(4)和歌山県本宮町 前町長 泉正徳 氏

(5)国土交通省 近畿地方整備局 紀南河川国道事務所長 黒谷努 氏

コーディネーター

テレビ和歌山報道局長 古田 皓 氏

参加無料 申し込み不要

シーニック・バイウェイに  
関するシンポジウム

2005年6月18日(土)

開演 / 13:30 (開場13:00)

終演 / 16:00 予定

会場 / 田辺市山村開発センター  
「大ホール」

主催 / シーニック・バイウェイに関する  
シンポジウム実行委員会



# 世界遺産 「紀伊山地の霊場と参詣道」に ふさわしいみちのありかた

## ●講演者・パネリスト

**石田 東生** (筑波大学社会工学系教授)

## ●パネリスト

**小野田真弓** (熊野古道を世界遺産に登録するプロジェクト準備会 運営委員代表)

**泉 正徳** (和歌山県本宮町 前町長)

**和泉晶裕** (国土交通省北海道開発局 道路調査官)

**黒谷 努** (国土交通省近畿地方整備局 紀南河川国道事務所長)

## ●コーディネーター

**古田 皓** (テレビ和歌山 報道局長)

## シーニック・バイウェイとは…

シーニック・バイウェイとは、「景観」を意味するシーン (Scene) の形容詞・シーニック (Scenic) と、「わき道」を意味するバイウェイ (Byway) を組み合わせた言葉です。景観・歴史・文化・自然・建築など、地域の魅力を「道」でつなぎながら、地域と行政が連携して、美しい景観づくり、魅力ある地域づくりを目指すものです。

「紀伊山地の霊場と参詣道」の世界遺産登録を機に紀伊半島への関心が高まっています。そこには美しい景観だけでなく、地域が育んできた個性や魅力、想いがあふれています。そうした資源の活用方策として紀伊半島でもシーニック・バイウェイへの注目が高まっています。

シーニック・バイウェイ制度の実現には地域と行政が両輪となって、取り組むことが必要不可欠です。アメリカや北海道での先進事例を参考にしながら、紀伊半島への導入の可能性をともに考えるきっかけとしてシンポジウムを開催します。



## プログラム

13:00 開場

13:30 開演

### 開会挨拶

酒井利夫

(和歌山県 県土整備部長)

13:40 基調講演

「みんなでつくる美しいみちとまち  
～シーニックバイウェイ制度の導入～」

石田東生

(筑波大学社会学系教授)

14:40 パネルディスカッション

「紀伊半島におけるシーニック・  
バイウェイの可能性」

16:00 終演

## ●講演者・パネリスト



### 石田東生

筑波大学社会学系教授

1951年大阪生まれ。東京大学大学院工学系研究科修士課程修了。筑波大学社会学系助教授、教授を経て、現在、筑波大学大学院システム情報工学研究科教授。専門分野は、都市計画・交通計画。著書に「環境を考えたクルマ社会」(共著)など。

## ●パネリスト



### 小野田真弓

熊野古道を世界遺産に登録するプロジェクト準備会 運営委員代表

1965年和歌山生まれ。国士館短期大学国文学部卒業。97年、熊野古道を世界遺産に登録するプロジェクト準備会を発足。和歌山県ベンチマーク審議委員、和歌山県河川審議委員などを務める。



### 和泉晶裕

国土交通省北海道開発局  
道路調査官

1961年北海道生まれ。86年北海道開発庁(現国土交通省)入庁。国土庁大都市圏整備局、国土庁防災局阪神淡路大震災対策担当大臣特命室、国土交通省北海道局開発専門官を経て現職。



### 古田 皓

テレビ和歌山 報道局長

1946年北海道生まれ。関西大学文学部新聞学科卒業。73年にテレビ和歌山入社後、営業課長、報道部長、報道局長を経て、現在、取締役報道局長。



### 泉 正徳

和歌山県本宮町 前町長

1951年和歌山県本宮町生まれ。74年近畿大学理工学部卒業。会社役員を経て97年町議会議員当選。1期目の途中、99年町長に就任。和歌山県道路協会副会長、スロータウン連盟副会長、東牟婁町村会会長を歴任し、2期目の2005年4月市町村合併により退職。



### 黒谷 努

国土交通省近畿地方整備局  
紀南河川国道事務所長

1957年大阪生まれ。80年、建設省(現・国土交通省)四国地方建設局(現・四国地方整備局)入省。その後、国土庁、近畿地方建設局(現・近畿地方整備局)企画部、道路部、兵庫、大阪、豊岡の事務所で、地域整備や道路整備を手掛ける。2004年4月から現職。

## 会場案内

田辺市山村開発センター「大ホール」

和歌山県田辺市本宮町本宮100  
TEL.0735-42-0269



〔京阪神方面から〕

- 電車にて
  - ・京都・新大阪駅からJRきのくに線にて紀伊田辺駅下車、駅前から龍神バスで本宮町に至る。
  - ・京都・新大阪駅からJRきのくに線にて新宮駅下車、駅前から熊野交通バスまたは奈良交通バスで本宮町に至る。
- 車にて
  - ・阪和自動車道みなべIC経由、国道42号を南下。田辺市を経て上富田町朝来交差点より国道311号に入り本宮町に至る。
  - ・西名阪自動車道香芝IC経由、国道24号、国道168号を南下、本宮町に至る。

〔奈良方面から〕

- バスにて
  - ・近鉄大和八木駅から奈良交通バス(特急又は急行)で本宮町に至る。

〔東京・名古屋方面から〕

- 電車にて
  - ・名古屋駅からJR紀勢本線にて新宮駅下車、駅前から熊野交通バスまたは奈良交通バスで本宮町に至る。
- 車にて
  - ・東名阪自動車道・伊勢自動車道勢和多気IC経由、国道42号を南下。新宮市より国道168号に入り本宮町に至る。

## MEMO